

熊野町の教育に関する基本構想等

第5次熊野町総合計画（抜粋）

熊野町の特質と課題

【熊野町の特質（活発な文化・スポーツ活動）】

本町では、筆まつり、全国書画展覧会、町民文化祭、筆の日などの特色ある文化活動や文化イベント、また、伝統ある町民体育大会、駅伝大会などのスポーツ活動が活発に展開されています。

こうした文化・スポーツ活動は、心豊かで健康的な住民生活を支え、個性あるまちづくりの原動力となるとともに、多彩な交流を推進していくことが期待されます。

【熊野町の課題（人口減少・少子高齢社会に対応した地域社会の形成）】

本町においても、今後、人口は減少し、少子化・高齢化が進行することが予想されます。定住人口の維持・増加に向けて、子どもを安心して産み、育てる環境の充実に向けた取り組みを総合的に進めていくことが必要です。

また、高齢者が安心して暮らし、元気に活躍する環境づくりなど、多世代が元気に暮らせる地域社会を構築していくことが必要です。

政策展開の視点

【地域力の強化】

「地域力の強化」は、将来を切り拓くために最も大切な財産となる「人材の育成と世代を超えた活躍」を目指すものです。

少子高齢社会においては、住んでいる「ひと」のパワーを源泉とする地域力を、人口増に代わる新たなまちの推進力として、その効果的な発揮に努めていくことが大切です。次の世代を創る子どもを地域社会全体で育み、高い教育力を持つまちを創造していくことを未来への基盤とします。

また、シニアが活躍できる環境づくりなど、熊野に住んでいる多くの世代が、それぞれの能力を発揮することができる、明るく元気で開かれた多世代共生社会を構築し、住民が主役となる「地域力の強化」を目指します。

政策体系

【基本目標】 ころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野

政策目標 子どもが健やかに、たくましく育つまちとする

一人ひとりの子どもが基礎学力を身につけ、それぞれの能力や個性に応じて独創力を伸ばし、将来を担う人材として豊かに育まれるまちとします。

【施策目標 1】

心豊かで能力のある人材を育成する

政策目標 住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする

人権が尊重され、すべての人が自分らしく生きることのできる社会を構築し、この地域社会の中で、世代を超え、それぞれの経験や技術を生かしながら、誰もが社会参加し、活躍できる活力と連帯感あふれるまちとします。

【施策目標 2】

すべての人が自分らしく生きることのできる社会を確立する

政策目標 住民が創造力を発揮できるまちとする

住民が生涯の各時期に応じて、身近な暮らしの場で、学習できる機会と場を確保します。そして、文化・スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりを進め、新たな熊野の文化を創造・発信するなど、住民の誰もが創造力を発揮できるまちとします。

【施策目標 3】

- 1 生涯にわたって学べる環境を整える
- 2 地域文化を継承し、発展させる